

幼稚園、保育園、養護学校、小・中学校の消防計画作成例 《 中規模 》

愛知インターナショナルスクール消防計画（防火管理規程）

（目的）

第1条 この計画は、消防法第8条第1項の規定に基づき、愛知インターナショナルスクールにおける防火管理業務について必要な事項を定め、火災、震災その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図ることを目的とする。

（適用範囲）

第2条 この計画は、当建物に勤務し、出入りするすべての者に適用する。

（予防管理組織）

第3条 防火管理者、防火担当責任者、火元責任者が行う日常の任務は、次のとおりとする。

防火管理者 学長 ヒル・マーク			
防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	職・氏 名	担当区域	氏 名
1 階	学長 ヒル・マーク	事務室	加藤 翠
		Room 10	マイケル・ミーク
		Room 11	エリザベタ・バスケビキューテ
		Room 12	高麗 エリカ
		Room 13/14	マフュ・フィッツジェラルド
2 階	初等部副学校長 濱野 元英	職員室	横山 里奈
		Room 20	スティーブ・モリス
		Room 21	クリス・レッドパス
		Room 22	シルビア・リカミ
		Room 23	グレース・ロジャーズ
		Room 24	ジョシュア・コレット
		台所	

（建物等の自主検査）

第4条 火元責任者は、自主検査票に基づき次の区分により自主検査を実施するものとする。

検査対象		実施月日	検査対象	実施月日
建築物	通路・階段等	1 日 2 回	火気使用設備	毎日終業時
	防火区画	1 日 1 回		
消防用設備等		1 日 1 回		

- 防火担当責任者は、火元責任者の実施した自主検査の結果を確認し、防火管理者に報告するものとする。
- 防火管理者は、報告された内容を防火管理台帳に記録するとともに、不備、欠陥がある

ものについては、ヒル・マーク（管理権限者）に報告し、改修を図らなければならない。

（職員等の遵守事項）

第5条 全職員は、火災予防及び火災発生時の避難確保のために、次の事項を遵守しなければならない。

（1）火気管理に関する事項

- ア 園児（生徒）等の手の届く所にマッチ、ライターを置かない。
- イ 火気使用器具は、使用前後に点検を行い、安全を確認する。
- ウ 厨房内は常に整理整頓し、グリスフィルター等は定期的に清掃する。
- エ 工事を行うときは、防火管理者を通じて、工事中の防火安全対策を樹立する。

（2）放火防止に関する事項

- ア 建物の周囲に可燃物を置かない。
- イ 死角となる廊下、階段室、トイレ等に可燃物を置かない。
- ウ 物置、空室等の施錠を行う。
- エ トイレ、洗面所等の巡視を行う。

（3）避難管理に関する事項

- ア 廊下、階段、通路には、物品（玩具、いす、自動販売機等）を置かない。
- イ 階段、非常口等に設けられている扉の開閉を妨げるような物品が置かれている場合は、直ちに除去する。
- ウ 上記において、物品を容易に除去できない場合は、ヒル・マーク（防火管理者又は防火担当責任者）に報告する。

（消防用設備等の法定点検）

第6条 消防用設備等の機能を維持管理するために共栄設備株式会社に委託して次により法定点検を実施する。

- 2 防火管理者は、消防用設備等の法定点検の結果を防火管理台帳に記録するとともに、不備、欠陥があるものについては、鈴木雅夫（管理権原者）に報告し、改修を図らなければならない。
- 3 消防用設備等の法定点検の結果は、1年（3年）に1回消防署長に報告しなければならない。

（自衛消防活動）

第7条 火災その他の災害が発生した場合、被害を最小限にとどめるため自衛消防隊を置く。

- 2 自衛消防隊の組織及び任務分担は次のとおりとする。

自衛消防隊長 (防火管理者)	通報連絡班 班長（加藤 翠） 一班員（白井） (鈴木)
	消火班 班長（濱野 元英） 一班員（ウエド） (リカミ)
	避難誘導班 班長（白井 みどり） 一班員（佐藤 愛理） (横山 里奈)
任務分担	
通報連絡班	119番で消防機関へ通報する。 園（校）内への非常放送を行う。 関係者への連絡を行う。
消火班	消火器等による初期消火を行う。
避難誘導班	出火時における避難者の誘導を行う。 逃げ遅れた者の確認を行う。 避難器具により逃げ遅れた者を避難させる。

＊ 必要に応じ応急救護班、安全防護班を組織する。

（震災対策）

第8条 震災時の災害を予防するため、次の事項を実施するものとする。

（1）日常の地震対策

- ア ロッカー、自動販売機等の転倒防止措置を行う。
- イ 窓ガラス、看板、広告塔等の落下、飛散防止措置を行う。
- ウ 火気使用設備・器具からの出火防止措置を行う。
- エ 危険物等の流出、漏えい措置を行う。
- オ 高所に置かれた重量物は低所に移動する。
- カ 震災用の備蓄品を確保するとともに、定期的に点検する。

備蓄品目	数 量	備蓄場所
飲料水	100リットル	事務室
非常用食料（缶詰、乾パン等）	50食分	事務室
応急手当セット（三角布、包帯、医薬品、ばんそうこう、ガーゼ、はさみ等）	事務室・ 各教室用	事務室・ 各教室
懐中電灯、乾電池	2本	事務室
携帯用ラジオ	1個	事務室

※ 備蓄品内飲料水及び非常食にあつては、帰宅困難等により園（校）内に滞留が予想される職員数及び園児（生徒）数等を満たす数量を確保する。

(2) 緊急地震速報発表時の対応

- ア 緊急地震速報を確認した者は、その情報を周囲の者に知らせるとともに、身体保護の措置をとる。
- イ 照明器具等の落下危険がある場合には、速やかに安全な場所へ移動し身体保護の措置をとる。
- ウ 施設内の園児(生徒)等に対し情報を提供し、パニック防止及び安全確保に努める。

(3) 地震発生時の安全措置

- ア 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。
- イ 火気使用設備・器具の直近にいる職員は、元栓、器具栓の閉止及び電源遮断を行い、各火元責任者はその状況を確認する。
- ウ 防火担当責任者は、火災等二次災害の発生を防止するために建物、火気使用設備・器具、危険物施設等について点検・検査を実施し、防火管理者に報告するとともに、異常が認められた場合は応急措置を行う。
- エ 各設備・器具は、安全を確認した後に使用する。

(4) 地震発生後の自衛消防活動

地震発生後において自衛消防隊は、次の活動を行う。

ア 情報収集・伝達

通報連絡班は、次のことを行う。

- (ア) テレビ、ラジオ等により情報の収集を行う。
- (イ) 必要な情報を職員に知らせる。

イ 警戒巡視

消火班は、次のことを行う。

- (ア) 火災発生の警戒及び被害状況の把握のため、建物内を巡視する。
- (イ) 落下、倒壊した物品で避難上障害となるものを除去する。
- (ウ) 建物内の被害状況等を防火管理者に報告する。

ウ 避難誘導

避難誘導班は、園児(生徒)等の混乱防止に努めるとともに次のことを行う。

- (ア) 園児(生徒)等を落ち着かせ、原則自衛消防隊長から指示があるまで待機させる。
- (イ) 園児(生徒)等の避難誘導を行う場合には、落下物からの頭部保護、倒壊物等による転倒防止等必要な指示を行う。
- (ウ) 園児(生徒)等を広域避難所(にじが丘公園)まで誘導する場合は、先頭と最後尾に職員等を配置して行う。
- (エ) 避難にあたっては、車両等を使用せず全員徒歩とする。

(東海地震注意情報発表時から警戒宣言が発令されるまでの措置)

第9条 東海地震注意情報の発表を知った職員は、直ちに防火管理者等に報告する。

2 報告を受けた防火管理者等は、テレビ、ラジオ等を通じて情報確認のうえ、各自衛消防隊員等に対し、速やかに警戒宣言が発令された場合の措置、任務分担等必要な事項を伝達指示するものとする。

3 職員及び園児(生徒)等に対し、放送設備により東海地震注意情報及び交通機関停止等

その他の情報について伝達し、帰宅を促すものとする。

- 4 東海地震注意情報発表時若しくは警戒宣言発令時の自衛消防活動に係る人員にあっては、必要最低限の人員確保を図った後、予め定めた計画に基づき職員の時差退社を行う。

(警戒宣言発令時の対応策)

第10条 大規模地震対策特別措置法に基づく東海地震に関する警戒宣言が発令された場合、次のとおり対応する。

- (1) 授業をはじめとする教育活動を打ち切る。
- (2) 幼稚園、養護学校の幼児、児童、生徒は、保護者への引渡しを原則とする。ただし、引渡しまでの間は、学校、幼稚園で保護する。
- (3) 小学校の児童、生徒は、あらかじめ保護者との間で決められた下校の方法で帰宅させる。
- (4) 警戒宣言発令中は、学校等は休園（校）する。

- 2 自衛消防隊は、次の活動を行う。

- (1) 情報収集・伝達

通報連絡班は、次のことを行う。

ア テレビ、ラジオ等により情報の収集を行う。

イ 職員等に対し、警戒宣言が発令された旨の情報伝達を行う。

- (2) 応急対策

消火班は、次のことを行う。

ア 火気を使用する設備・器具の使用は原則として禁止するものとし、やむを得ない場合は、最小限とするとともに、監視人を置く等の措置を行うものとする。

イ 窓ガラス等の破損、散乱防止措置を行う。

ウ 照明器具、ロッカー、書類棚、OA機器、物品等の転倒・落下防止措置を行う。

エ 非常持出品の準備を行う。

- (3) 安全誘導

避難誘導班は、次のことを行う。

ア 避難通路の確保、非常口の開放等を行う。

イ 避難誘導班は、園児(生徒)等が混乱しないで下校できるように誘導する。

- 3 授業時間外に警戒宣言が発令された場合は、建物に残っている者が同条2項第2号に定める応急対策を行う。

- 4 職員等が休業日、休暇、退社後に警戒宣言の発令を知ったときは、原則として自宅待機とする。

(教育訓練)

第11条 防火管理者等は職員等の防火知識並びに消防技術及び震災対応措置の向上を図るため、年2回以上防火・防災に関する教育及び訓練を行う。

- 2 防火管理者等が行う防火・防災に関する教育は、年一回以上実施する。

第12条 防火管理者は、防火管理の適正を図るため、常に消防機関との連絡を密にし、次

の業務を行う。

- (1) 消防計画の作成（変更）届出
- (2) 防火指導の要請
- (3) 教育訓練指導の要請
- (4) 消防訓練実施の連絡
- (5) 消防用設備等の点検結果の報告
- (6) その他防火管理上必要な事項

附 則

この計画は、平成 29年 5月 29日から施行する。

更 新

この計画は、平成 30年 3月 20日に更新する。

この計画は、平成 31年 3月 23日に更新する。

この計画は、令和 2年 3月 18日に更新する。

この計画は、令和 2年 6月 15日に更新する。

この計画は、令和 3年 4月 1日に更新する。

Fire Protection Plan for Kindergartens, Nursery Schools, Schools for Disabled Children, and Elementary and Junior High Schools (medium scale)

Fire Protection Plan of Aichi International School (Fire Control Stipulations)

Purpose

Article 1 In accordance with Article 8-1 of the Fire Services Act, the purpose of this plan is to stipulate the fire prevention requirements of Aichi International School, and to outline the said establishment's protection measures for safeguarding human lives from fires, earthquakes and other disasters.

Coverage

Article 2 This plan applies to all persons employed at and entering the said establishment's building.

Preventive Management Organization

Article 3 The establishment's fire protection manager, persons in charge of fire protection, and fire prevention assistant supervisors are as follows:

Fire Protection Manager Mark Hill (Headmaster)			
Persons in Charge of Fire Protection		Fire Prevention Assistant Supervisors	
Location	Position/Name	Location	Name
1 st floor	Headmaster Mark Hill	Office	Midori Kato
		Room 10	Michael Meek
		Room 11	Elizabeta Vaskiviciute
		Room 12	Erika Korai
		Room 13/14	Matthew Fitzgerald
2 nd floor	Elementary Dep. Principal Motofusa Hamano	Teacher's room	Rina Yokoyama
		Room 20	Stephen Morris
		Room 21	Chris Redpath
		Room 22	Sylvia Likami
		Room 23	Grace Rodgers
		Room 24	Joshua Collett
		Kitchen	

Self-inspection of Building etc.

Article 4 Fire prevention assistant supervisors shall carry out self-inspection of designated areas in accordance with the table below.

Area of inspection		Frequency	Area of inspection	Frequency
Building	Corridors, stairs, etc.	Twice a day	Fire-use facilities	End of each day
	Fire protection area	Daily		
2. Persons in charge of fire protection shall confirm the self-inspection results of fire prevention		Fire apparatus etc.	Daily	

assistant supervisors, and report to the fire protection manager.

3. The fire protection manager shall record the reported findings in the fire protection management log, as well as report any deficiencies and/or faults to Masao Suzuki (Management Authority), who will endeavor to see necessary improvements and/or repairs are made.

Duties of Staff

Article 5 In order to prevent fires and enable safe evacuation in the event of a fire, all staff members must adhere to the following:

- (1) Fire management
 - a. Matches and lighters must be kept out of the reach of children.
 - b. Fire-use equipment shall be inspected before and after use to confirm safe working order.
 - c. The kitchen shall be kept tidy, with periodic cleaning of the ventilator etc. to be carried out.
 - d. During any construction, the fire protection manager shall establish a fire prevention and safety plan.
- (2) Arson prevention
 - a. Flammable objects must not be kept around the vicinity of the building
 - b. Flammable objects must not be kept in blind areas of corridors, stairwell rooms, toilets, etc.
 - c. Sheds and vacant rooms, etc. shall be kept locked.
 - d. Conduct patrols of toilets and laundry areas, etc.
- (3) Evacuation management
 - a. Objects (toys, chairs, vending machines, etc.) should not be kept in corridors, stairs or passages.
 - b. Any objects which obstruct the opening or closing of doors to stairs or emergency exits shall be removed immediately.
 - c. Any objects which cannot be removed easily shall be reported to Mark Hill (fire protection manager).

Regulatory Inspection of Fire Protection Equipment

Article 6 In order to maintain the function of fire protection equipment etc., Kyoei Setsubi Ltd. is commissioned to conduct regulatory inspection as stated below.

2. The fire protection manager shall record the results of regulatory inspections in the fire protection management log, as well as report any deficiencies and/or faults to Mark Hill (Headmaster), who will endeavor to see necessary improvements and/or repairs are made.
3. The results of the regulatory inspection of fire protection equipment etc. must be reported to the jurisdiction fire department once a year.

Fire Defense Activities

Article 7 A fire defense team shall be organized in order to minimize injury and/or damage in the event of a fire or other disaster.

2. The organization and duties of the fire defense team are as follows.

Fire Defense Chief (Fire Protection Manager)	Communications Leader (Kato) — Members (Shirai) (Suzuki)
	Firefighting Leader (Hamano) — Members (Wade) (Likami)
	Evacuation Leader (Shirai) — Members (Sato) (Yokoyama)
Duties	
Communication team	Call 119 to notify the fire station. Make an emergency announcement throughout the school. Contact relevant persons.
Firefighting team	Carry out initial firefighting with fire extinguishers etc.
Evacuation team	Guide evacuees to safety in the event of a fire. Confirm any persons remaining in the building. Evacuate those remaining in the building using evacuation equipment.

*If deemed necessary, a first-aid team and safety team shall be organized.

Earthquake Measures

Article 8 In order to prevent injury or damage in the event of an earthquake, the following measures shall be implemented.

(1) Daily earthquake measures

- a. Attachments shall be used to prevent lockers etc. from tipping over.
- b. Measures shall be taken to prevent falling or scattering of window glass, signs, etc.
- c. Devices to prevent fires starting from fire-use equipment shall be used.
- d. Measures shall be taken to prevent the outflow or leaking of hazardous materials.
- e. Heavy objects stored in high places shall be moved to a low position.
- f. Supplies for use following an earthquake shall be kept and regularly inspected.

Supply item	Quantity	Location
Drinking water	100 liters	1F office
Emergency-use food (canned goods, dry biscuits, etc.)	50 meals	1F office
First-aid kit (incl. sling, bandages, medicines, plasters, gauze, scissors, etc.)	One per room	1F office/ each classroom
Torches, batteries	2	1F office
Portable radio	1	1F office

*Drinking water and emergency-use food kept on site for staff and/or students who may

have difficulty returning home and need to remain at school.

- (2) In the event of an earthquake early warning:
 - a. The person who confirms the earthquake early warning shall notify all those in the vicinity, as well as take measures to protect one's self.
 - b. Swiftly move to a safe location and protect one's self if there is a danger of falling light fittings etc.
 - c. Strive to provide information to children etc. within the building in order to alleviate panic and protect their safety.
- (3) Safety measures in the event of an earthquake
 - a. The first priority following an earthquake is to protect one's own safety.
 - b. Any staff members in the vicinity of fire-use equipment/appliances should switch off the gas and/or electricity to these items, and confirm status to the relevant fire prevention assistant supervisor.
 - c. In order to prevent a secondary disaster, the persons in charge of fire protection shall inspect buildings, fire-use equipment/appliances, facilities for dangerous goods, etc. and report to the fire protection manager, as well as conduct any emergency measures if abnormalities are found.
 - d. Equipment and appliances can be used after checking it is safe to do so.

(4) Self-defense activities following an earthquake

In the event of an earthquake, the self-defense team shall conduct the following activities.

- a. Information gathering and communication
The communication team shall undertake the following:
 - (i) Gather information from TV and radio, etc.
 - (ii) Pass on necessary information to staff.
- b. Lookout patrol
The firefighting team shall undertake the following:
 - (i) In order to ascertain the precaution or damage status, a patrol of the building interior shall be conducted.
 - (ii) Any fallen or collapsed objects which could obstruct evacuation should be removed.
 - (iii) Report the damage status of the building interior to the fire protection manager.
- c. Evacuation guidance
The evacuation guidance team shall strive to prevent confusion among students, as well as undertake the following:
 - (i) Try to keep students calm, and have them wait until instruction is received from the fire defense chief.
 - (ii) When evacuating students, instruction should be given to protect one's head from falling objects, and to take care not to trip over collapsed materials.
 - (iii) When evacuating students to the evacuation area (Nijigaoka Park), a staff member should be at the front and back of the group.

- (iv) All persons should walk during an evacuation and should refrain from using vehicles.

Measures to be taken after a Tokai Earthquake advisory has been issued and until an official warning is announced

Article 9 Staff members who are aware of an announcement of a Tokai Earthquake advisory should immediately notify the fire protection manager etc.

2. The fire protection manager etc. who receives the notification should confirm the information via TV, radio, etc. Following which, each member of the self-defense teams should give swift instructions of required measures and duties should an official warning be issued.
3. Staff and students should be informed via broadcasting system of the Tokai Earthquake advisory, disruption of transportation services, and other information, and prompted to return home.
4. In the event a Tokai Earthquake advisory or official warning is announced, only necessary fire defense team members should remain at school, while other staff should be advised to return home in accordance with prearranged plans.

Measures to be taken in the event an official warning is announced

Article 10 In accordance with the Large-Scale Earthquake Countermeasure Act, in the event that an official warning regarding the Tokai Earthquake is issued, the following measures shall be taken.

- (1) Educational activities, including classes, shall be halted.
 - (2) Kindergarten students shall, in principle, be handed over to parents. However, the school shall look after students until parents can collect their children.
 - (3) Elementary school students should be sent home in accordance with prior arrangements made with parents.
 - (4) When an official warning is in place, school shall be canceled.
2. The fire defense team shall conduct the following:
- (1) Information collection/ communication
The communication team shall conduct the following:
 - a. Gather information from TV, radio, etc.
 - b. Communicate information regarding official warnings to staff members.
 - (4) Emergency measures
The firefighting team shall conduct the following:
 - a. In principle, prohibit the use of fire-use facilities/equipment; however, in the event that such items need to be used, use as sparingly as possible, and take measures to secure safety, such as appoint a supervisor.
 - b. Take measures to prevent window glass from breaking or scattering.
 - c. Take measures to prevent light fittings, lockers, shelves, office equipment, other objects, etc. from falling or tipping over.
 - d. Prepare evacuation materials.
- (3) Safety guidance

The evacuation team shall conduct the following:

- a. Secure a safe evacuation route and open emergency exits etc.
 - b. The evacuation team should give guidance to students so that they are able to return home without trouble.
3. In the event that an official warning is issued outside of class time, any persons remaining in the building should follow the emergency procedures stipulated in Article 10 2-(2).
4. In principle, staff who are on holiday or have returned home for the day when an official warning is issued shall remain at home.

Education

Article 11 In order to increase fire protection knowledge, fire control techniques, and earthquake measures among staff, the fire protection manager etc. shall conduct fire and earthquake training/drills at least twice a year.

Article 12 In order to fulfil appropriate fire protection measures, the fire protection manager shall be in regular contact with the jurisdiction fire department regarding the following:

- (1) Fire protection plan (amendment)
- (2) Requests for fire protection instruction
- (3) Requests for training instruction
- (4) Implementation of fire training drills
- (5) Reporting of inspections of fire protection equipment etc.
- (6) Other necessary fire protection matters

Supplementary

This plan comes into effect from May 29, 2017.

Updates:

This plan was updated March 20, 2018.

This plan was updated March 23, 2019.

This plan was updated March 18, 2020.

This plan was updated June 15, 2020.

This plan was updated April 1, 2021.



Earthquake (severe)	Fire
<ul style="list-style-type: none"> In the event of an earthquake or early warning of an earthquake, students should be instructed to immediately take cover under their desks. <i>“This is an earthquake. This is an earthquake. Right now, DROP, COVER, and HOLD ON. DROP to the floor now; Take COVER under a desk; HOLD ON to the desk. DROP, COVER, and HOLD ON.”</i> Students who happen to be in the toilet or out of class should know to take cover under the nearest desk or door frame. Those off school grounds should take cover accordingly, then make their way to the park. Self-defense team leaders shall gather to carry out roles according to the Fire Protection Plan. Once the earthquake subsides, the teacher should then have children wear head protection cushions and line up at the door and complete a headcount. The teacher should then take the class first aid bag/kit, the class attendance sheets and lead children safely out of the building through the most direct and safe route. Children must not push, run or speak or change their shoes during evacuation. All classes are to assemble in the park directly across the road. Once a class has evacuated, the teacher should take a second head count/roll call. The school manager/headmaster will do a sweep of the top and bottom floors. <i>Take student/staff list and reference manual. (Must be kept up to date)</i> If anyone is trapped or unable to be removed from the building, this should be reported to emergency authorities as soon as possible. Once all staff and students are assembled or accounted for, they shall await further instructions from leadership. ➤ (Depending on the severity of the earthquake, it may be necessary to travel to the emergency shelter at Nishiyama Elementary School.) 	<ul style="list-style-type: none"> In the event of a fire, anyone who finds a fire should go to the red fire alarm box in front of the hall on either the first or second floor and push the big black button. An announcement of the fire location should be made via the PA system. If safe to do so, use the closest fire extinguisher to try and put out the fire. Fire defense team leaders shall gather to carry out roles according to the Fire Protection Plan. Notify fire department immediately via phone on wall next to headmaster’s desk. When the alarm sounds, teachers should have children line up at the door and complete a headcount. Students wear head protection cushions and cover their mouth and nose with a handkerchief. Students who happen to be in the toilet or out of class should know to leave the building safely. The teacher should then take the class first aid bag/kit, the class attendance sheets and lead children safely out of the building through the most direct and safe route. Children must not push, run or speak or change their shoes during evacuation. All classes are to assemble in the park directly across the road. Once a class has evacuated, the teacher should take a second head count/roll call. The school manager/headmaster will do a sweep of the top and bottom floors. <i>Take student/staff list and reference manual. (Must be kept up to date)</i> If anyone is trapped or unable to be removed from the building, this should be reported to emergency authorities as soon as possible. Once all staff and students are assembled or accounted for, they shall await further instructions from leadership.



緊急対応& 避難手段

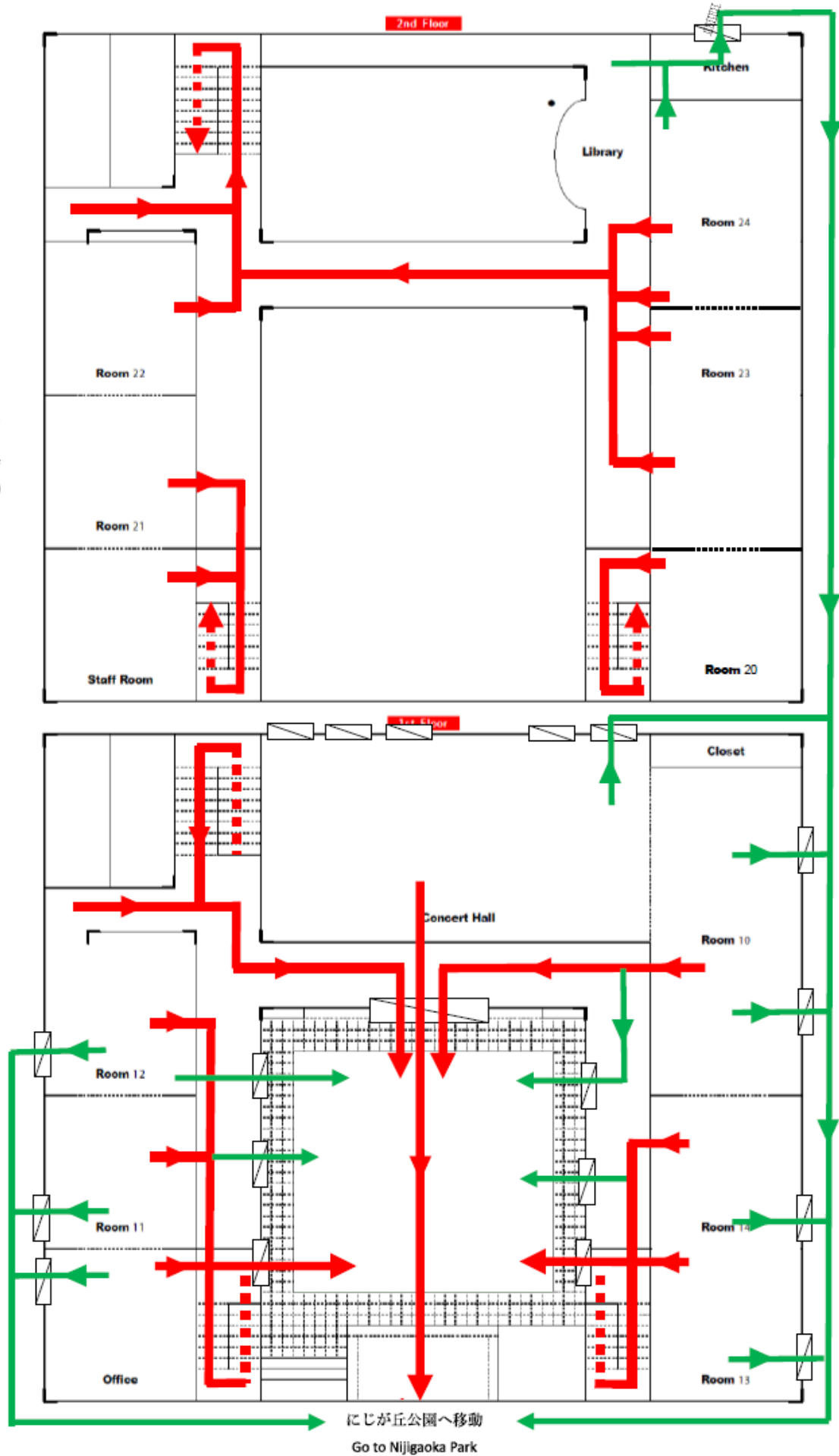
地震 (揺れが大きい)	火災
<ul style="list-style-type: none">地震が発生した、もしくは地震速報を発表した場合、児童を机の下へ潜るように指示する。 “地震だ。地震だ。直ちに、しゃがんで、頭を守って、つかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。今すぐ、床へしゃがんで、机の下に頭を守って、机をつかむこと。しゃがんで、頭を守って、つかむこと。”トイレや教室以外の場所にいる児童は、近くの机や戸の枠の下に頭を守るように事前に指導すること。学校外の場合は、適切に頭を守る指示をして、公園まで辿り着く。自衛消防隊各班長が集まり、消防計画により役割を果たす。地震の揺れが収まったら、担任教師は児童に防災頭巾を着用させ、教室の出口で並ばせてから、人数を確認する。担任教師は、救急箱と生徒名簿を持って、最も直接に安全な避難路を通して外へ誘導する。避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、靴を履き替えたりしないこと。全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。学長は、1階と2階の全域を確認する。学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること)避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。生徒と職員全員の安否が確認されたら、学長等からの指示を待つ。 <p>➤ (地震の強さにより、西山小学校にての避難所へ移動することもある。)</p>	<ul style="list-style-type: none">火災を発見した職員は、ホール前の1階または2階の壁に設置してある火災報知機へ行く。報知機の小さな開け口を開き、中の黒いボタンを押す。小さなレバーを上引き、ベルが鳴る。火災の発生場所を校内放送で伝える。学長横の通報専用電話機を使って、直ちに消防署へ連絡する。自衛消防隊各班長が集まり、消防計画により役割を果たす。ベルが鳴ると、担任教師は児童に教室の出口で並ばせてから、人数を確認する。生徒は、防災頭巾を被り、ハンカチで口・鼻を押さえる。トイレや教室以外の場所にいる児童は、安全に校内へ避難するように事前に指導すること。担任教師は、救急箱と生徒名簿を持って、最も直接に安全な避難路を通して外へ誘導する。避難中には、児童は押したり、走ったり、話したり、靴を履き替えたりしないこと。全クラスは、学校前の公園で集まる。避難ができてから、担任教師は再度人数を確認する。学長は、1階と2階の全域を確認する。学長は、生徒・職員名簿を持っていく。(常に情報を更新すること)避難が遅れている、もしくはできない人がいれば、直ちに救急隊員に伝える。生徒と職員全員の安否が確認されたら、管理者からの指示を待つ。

愛知インターナショナルスクール避難回路図
Aichi International School Emergency Evacuation Map

凡例
Legend

→
避難路（主要）
Route (main)

→
避難路（主要路が
通らない場合）
Route (alternative if
main route blocked)



愛知インターナショナルスクール防火・防災器具等位置図
Aichi International School Emergency Equipment Location Map

凡例
Legend



火災受信機
Fire alarm receiver



通報専用電話機
Fire service direct dial phone



火災報知機
Fire alarm



消火器
Fire extinguisher
A/B/C type
有効期限(Expiry)
March 2028 (all)



煙感知器
Smoke detector



避難用はしご
Emergency ladder



非常灯
Emergency light



非常口標識
Exit sign



出口扉
Exit door



火気使用設備
Fire-use appliance

